
トイレの花太郎。

06

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トイレの花太郎。

【Nコード】

N 8 1 4 1 R

【作者名】

0 6

【あらすじ】

ある所に、一人の少年がいました。少年の名前は、花太郎。
何を隠そう、実は彼、幽霊なのだ！ 煩惱たらたらな一人の幽霊のお話。

腕慣らしです。ごめんなさい。

。。公園の男子トイレ。その手前から四番目の個室のドアを午前四時、四十四分に四回ノックをして、一言。

「はーなたーろくーん。あーそびーましょー」

と言うと、誰も居ないはずのドアの向こうから、

「は？ やだよ。メンドくさい」

と、返事が返ってくるという。

――滅亡新聞――

「……………」

え？ 何これ。……俺？

そんな冷たい対応したことないけど……。

……ってか、何で今日はこんなに人が来るんだろう？

時間の部分とか完全無視じゃん。

……そうか、これが新聞の効果か。

「は、花太郎さん……。あ、遊びましょ？」

今度はえらい引つ込み思案な子が来たな。

「おk、遊ぼうぜー」 そう言ってドアを開ける。

今日はこれで二十回目だ。

「あ……割と普通……」

「まあな。病死だったし。どこも壊れてないよ」

ただ、死んだのがこの公園っただけです。

「えと……何して遊ぶ？」

「あ、えつと……」

急にそいつはもじもじし始める。

「ゆ、遊園地へ、是非……」

「あ、悪い。俺、地縛霊だから」

「そ、そうなんですか……」

「散歩でもしようか？」

「え？ 外、晴れてますよ？」

「いや俺、太陽大丈夫だから」

多少は薄くなるけど。

「じゃあ、よろしくお願いします……」

「あいよー」

俺はその子の手を取る。

「あ、触れる……何で？」

「ん？ ああ、俺は特殊なんだよ」

とか言ってみたりして。

「霊には触れる……っと」

「え？ 君もオカルトマニア？」

「へ？ あ、はい」

ふーん……。意外だな。

「可愛いのに」

「え？ 何か言いましたか？」

「いや、何も」

眼鏡っ子は天然も兼用可……だったか？

「そういえば、よく男子トイレに入れたな？」

今更ながらに聞いてみる。

「あ、はい。かなり緊張しました」

だろうなあ……。

俺も十三歳で死んでから、十七年間ここに住んでるけど、未だに

女子トイレには入れねえもん。魂が汚れる気がして。……って俺、

魂の塊じゃねえか。

「どうしました？」

「え？ いや、何でもない」

はあ……。俺も生きてれば、三十か……。なんか落ち込むなあ……

…体の成長がないって。

せめて順調に体が成長してくれてたら、こんな子、簡単に押し倒

せるのにな……。

「……私の顔に何か付いてますか？」

いや、待てよ？ 力づくでは無理でも、頭を使えば良いんじゃないか？

「……いや、君はいつでも綺麗だよ」

「……え？ 何て？」

うおおおお！ 成仏してえええ！

「あ、もう一周してしまいましたね。時間が経つのが早いです」

「ああ……」

「どうしました？ 元気ないですよ？」

「そんな事ないさ。また来いよ」

そんな時までに、研究しといてやる。

「はい！ また来ます！」

そう言つて、その子は深くお辞儀をした。

あれ？ もしかして、頭を上げた時に俺いなかったら、カッコ良くな？

つてことで、姿を消してみる。

「では……。あれ？」

決まった！

「どこに行っちゃったんだろう……。まだ、お礼が済んでないのに」

「おーい。こっちこっち」

「あ、いたいた！ ……はい、お礼ですっ」

俺は一度目を閉じ、開く……と、俺の首には数珠が掛けられていた。

「ではっ！」

そして、そのままその子は公園から去って行った。

「……えつと……何これ？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8141r/>

トイレの花太郎。

2011年10月8日13時48分発行